

# 長野県火山防災のあり方検討会報告書 概要①

## ビジターセンターにおける情報発信について

### どんな場所で？

- ・利用者にとって立ち寄りやすい場所を考慮  
(登山道の入口、交通機関の駅、山小屋、宿泊施設、道の駅など)
- ・施設外での情報発信  
(施設内に立ち寄らない人でも情報を取得可能に)

### 誰に、どんな情報を？

- ・登山者向けに必要な情報と、一般観光客向けに必要な情報を区別  
(対象者を明確に、それぞれの目的に応じた場所で発信)

### 効果的に情報発信するためには？

- ・ストーリー性を持たせた発信  
(『火山防災以外の分野』と『火山防災』の関連付け)  
(自然環境や歴史など、既存の魅力に『火山防災』を上乗せ発信)
- ・「モノ」と「ヒト」による発信  
(ジオラマや噴石の展示や職員からの説明)

## 4火山の現状を踏まえた情報発信について具体的に例示

浅間山・・・火山によってできた環境と防災の関連付け  
焼岳・・・観光客へ、活火山が近くにあることを周知  
乗鞍岳・・・学校登山で利用する子ども達を対象にした防災教育  
御嶽山・・・御嶽山信仰者への情報発信、VCと山小屋の連携強化

## 理想的なビジターセンターの役割は？

- 1・登山者、一般観光客への情報発信  
【周辺の「環境」や「観光」を活用し、火山に関する情報を発信】
- 2・火山と共生した地域づくり  
【活火山地域の暮らしが「火山」と共にあることの認識を深める】
- 3・地域の学びの場  
【地域住民の交流の場、未来を担う子ども達の学習の場、  
マイスターの活動拠点として】

# 長野県火山防災のあり方検討会報告書 概要②

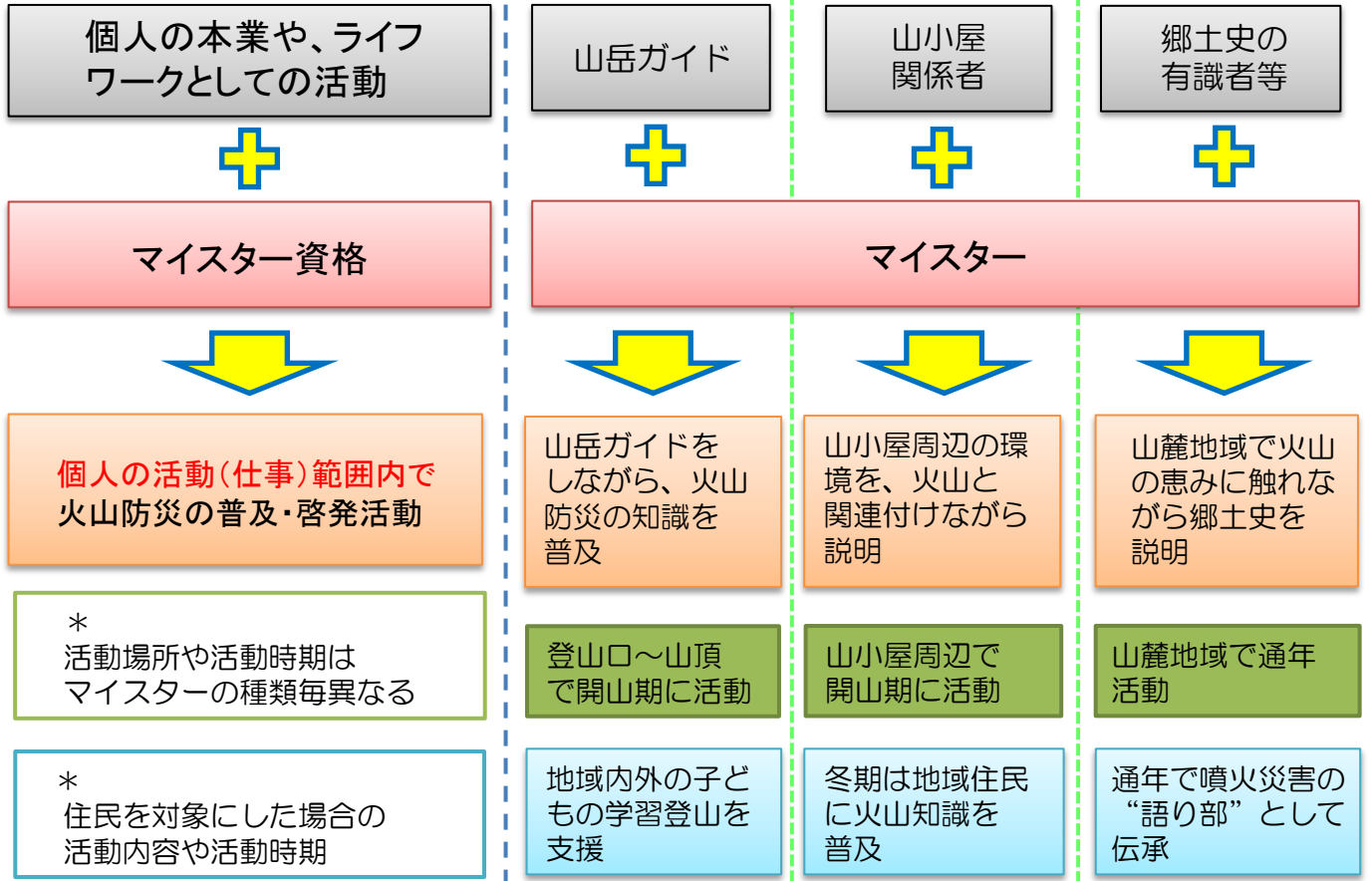
## (仮称)御嶽山マイスター制度について

『御嶽山マイスター』は資格である

- ・『マイスター』の資格取得者は、火山防災に関する普及・啓発を担う

### マイスターの活動イメージ

【具体的な人材・活動イメージ】



意識の高い人材(主体性・情熱)を認定

- ・パートナーシップとしての行政支援
- ・VC等や名古屋大学御嶽山研究施設との連携

マイスター資格を取得することで、取得者の活動に付加価値が付く(それぞれの生業に更なるメリット)

マイスターの存在が地域の価値向上(ブランド化)へ【Ex.マイスターのいる宿】

住民、訪問者にとって魅力の溢れる木曾地域

火山防災対策の推進

御嶽山と共に歩む復興ストーリー